

お詫びと訂正

2025年版 大学赤本シリーズ『関西大学（理系）』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2024年度 全学日程2：2月5日実施分 英語 p.189, 194

大問Ⅲ A. (9) 解答・解説

誤 解答：C

正 解答：B

解説：

(9) 下線部は「最終的に意見は変わらないかもしれないが、成功する可能性はより高くなる」という意味。第9段最終文 (Presenting things in…) では、挑発的でない方法で物事を提示すると、人々は攻撃されていると感じることなく新しい情報を評価するようになるとある。下線部直前の第10段第1文 (Try asking questions …) では、自分が信じていることに疑念を抱かせるような質問を試みることを提案しているが、下線部の内容からは、そうした質問をしたとしても必ずしも相手の意見を変えられるわけではないことがわかる。したがって、B. 「たとえ優れたテクニックを使ったとしても、誰かの考えを変えることは難しいことがある」が正解。

A. 「質問に対する正しい答えは、時として自分で発見する問題の場合がある」

C. 「別の人の考えを変える可能性は声の調子によって左右される」

以上